

質問の件名及び質問の要旨 (質問時間)	答弁を求める者
<p>1 「地方版総合戦略」策定について (30分)</p> <p>日本は、2008年から人口減少時代に入っており、若者の地方からの流出と東京圏への一極集中が進んでいます。このままでは、人口減少を契機に市場の縮小や産業の衰退を招き、地域の様々な社会基盤を維持することが困難な状況に陥ってしまいます。</p> <p>このような状況を踏まえ、政府は昨年11月に成立した「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、人口減少に歯止めをかけ、地域活性化をめざす「長期ビジョン」と、2015年度から2019年度の政策目標を定めた「総合戦略」を昨年12月27日に閣議決定しました。さらに、都道府県や市町村には、2015年度までに「地方版総合戦略」の策定が努力義務として課されています。</p> <p>自治体においてこの「地方版総合戦略」を策定するにあたっては、「産・官・学」に加え、地域の実情を詳しく知る「金・労・言」（金融機関、労働団体、メディア）や住民の代表を巻き込むことが重要とされています。</p> <p>今後、本市が「地方版総合戦略」を策定するにあたっての考え方や手法について、以下質問します。</p> <p>(1) 本市では2015年度に第5次鶴ヶ島市総合計画（後期基本計画）が策定されますが、「総合戦略」との関係は、どのようになりますか。</p> <p>(2) 「まち・ひと・しごと」を創生する戦略を立てるための人材の確保は。また、議会との関係は。</p> <p>(3) 周辺自治体との連携のあり方について。</p> <p>(4) 国の「総合戦略」では、「地方への新しいひとの流れをつくる」ため、2020年には地方と東京圏の転出入を均衡させることを目標に掲げていますが、本市への影響を、どのように考えていますか。</p> <p>(5) 結婚・出産・子育て・教育の環境整備の現状と今後について、どのように検討されますか。</p> <p>(6) 地域産業の競争力強化や企業誘致の取り組みについて、どのように検討されますか。</p>	市長

質問の件名及び質問の要旨 (質問時間)	答弁を求める者
<p>2 健康診断受診機会の増加策について (10分)</p> <p>近年、糖尿病や高血圧症などの生活習慣病が増加傾向にある中、健康診断の重要性があらためて指摘されています。企業などに所属している人は、職場で健康診断を受ける機会がありますが、個人事業主や専業主婦などは定期的な健康診断を受ける機会が少ないと言われており、特に若い世代の受診率の低さが問題となっております。</p> <p>そのような中、最近では各地でさまざまな健診率向上の取り組みが行われるようになってきています。</p> <p>兵庫県尼崎市では、これまで健康診断を受けたことのない潜在的な生活習慣病予備軍や重症者の掘り起こし、若年層の受診率向上などを目的に2012年10月に株式会社ローソンと健康協定を締結。2013年10月20日から12月15日にかけて全12回、全国で初めてローソン店舗の駐車場を利用した、いわゆる「コンビニ健診」を実施しました。</p> <p>具体的には、受診希望者が実施スケジュールから希望日時を選択し、インターネットや電話、または実施する各店舗で予約した上で健診を受けます。当日は、店舗の駐車場にテントを設けるなどして健診を実施します。</p> <p>また佐賀市では、「ローソンで特定健診とがん検診」と銘打ち、店舗駐車場に肺がん検診車も入れての健診を昨年8月31日に実施しています。</p> <p>今後、本市においても、健康診断を受ける機会を増やすことは重要であると考えます。</p> <p>(1) 健康診断やがん検診の受診率向上の取り組み状況は。</p> <p>(2) 受診率が向上しない原因を、どのように分析していますか。</p> <p>(3) 今後、受診率を向上させるためには、受診機会をいかに増やしていくか、気軽に受診できる場をどのように設定していくかが課題だと思われませんが、いかがですか。</p>	市長